

平成30年度



学校だより 第3号

チャレンジ&ありがとう

高岡市立木津小学校
平成30年6月20日
発行責任者 木越明子



心に残る体験を

校長 木越 明子

「3年生には、先生たちと握手する勉強があるの？」
突然の1年生からの問いかけに、

「ぼくたちも1年生の時に、先生たちに自己紹介をして握手をしてもらったよ。」
と、戸惑いながらも3年生の男の子が答える。

「ふーん。そうなんだ。」

と、うなずきながら納得の表情をする1年生。

これは縦割り掃除での一コマである。その日、掃除前の昼休みの時間に、生活科の『ともだちいっぱい』の学習で、1年生が教職員に自己紹介をしてサインと握手をしようという活動をしていた。何人もの教職員に握手をもらった1年生が、意気揚々と掃除場所にやって来て、3年生に尋ねたのだ。縦割り掃除のグループは、1年生から6年生までの子供たちで構成されており、学年の枠を越えた触れ合いができる。教室での授業だけではなかなか生まれない二人のやりとりを聞いて、思わず頬が緩んだ。

先日、6年生の子供たちとプール掃除をしていた時のことである。プールの壁を磨いていた6年生が、自分が1年生の時に6年生と一緒にプールに入ったことを覚えているというのだ。そして、自分たちも同じように1年生と一緒にプールに入りたいと言う。学校の大きなプールに初めて入る1年生が、怖さを忘れ水泳学習を楽しみにしてくれることを願って続けられている『なかよしプール』。何年も前の出来事にもかかわらず、プールの中で6年生におぶってもらい楽しく遊んだことを今でも覚えていることに驚くとともに、記憶に残るような体験の場を学校生活の中で工夫していく必要性を強く感じた。

少子化が進み、兄弟姉妹や近所の仲間と触れ合う機会が減ってきた昨今、学校生活の中で行われる学年の枠を越えた活動が、子供たちにとって人間関係を学ぶ重要な場となる。また、子供たちの心を揺さぶり新鮮な驚きをもたらす体験活動は、一人一人の心の成長にとって欠かすことのできないものである。木津小学校において継続して取り組んでいる集団登校や縦割り掃除、応援合戦、ペア学年での合同学習などの縦割り活動のねらいと成果をしっかりと確認しながら、これからも取り組んでいきたい。

引き渡し訓練の実施

6月16日の学習参観後に児童の引き渡し訓練を行いました。今回は、校区で不審者の目撃情報があったという設定で、緊急メールを保護者に送信し、各教室へ児童を迎えに来てもらいました。

児童一人一人を迅速かつ確実に引き渡すために今後改善すべき点も確認することができ、有意義な訓練となりました。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

